

福田会育児院と何礼之 —寄付行為の分析を中心に—

○専修大学兼任講師 氏名 小笠原 強 (会員番号 009719)

キーワード：福田会育児院 何礼之 寄付行為

1. 研究目的

明治期に東京で設立された福田会育児院（以下、福田会）は、仏教諸宗派の関係者などを中心に貧困児童の救済を行なった施設であり、現在も東京都渋谷区にて児童養護施設を運営している。その福田会にとって「恩人」の一人とされる何礼之という人物がいる。熱心な仏教徒であった何礼之（1840～1923）は福田会において、子どもたちへの支援、施設の移転など組織運営に尽力した人物とされているが、詳細な分析は進んでいない。そこで本研究では何礼之の寄付行為に注目し、福田会の運営における役割を分析する。

2. 研究の視点および方法

何礼之（以下、何）は明治・大正期に活躍した人物であるが、本研究の考察時期は史料で確認可能な1897（明治30）～1912（明治45）年に限定して寄付行為を分析する。何の寄付行為は「一般的寄付」と「特殊寄付」の2つに分けられ（後述）、それぞれを史料から確認することができる。本研究では、使用史料は何本人による「何礼之日記」、「年譜藁」、「寄附行為ニ係ル条件ノ理由説明書」（いずれも東京大学史料編纂所所蔵「長崎唐通事何礼之関係史料」所収）、福田会が発行していた『福田会月報』（成田山仏教図書館所蔵）を用いて分析する。

3. 倫理的配慮

本研究は、日本社会福祉学会研究倫理規程に基づいて行われている。なお、報告者と調査対象はCOI関係にはない。

4. 研究結果

福田会は設立当初より、運営の一部を寄付金品により賄っていた。福田会関係者のみならず市井の人々から寄付が寄せられており、その内容は金銭や物品（食品、衣類、玩具、文具、抽選券など）からなるものであった。本研究においてはこれらの寄付を（1）「一般的寄付」と位置づける。何も「一般的寄付」を実施しているが、それとは異なる寄付行為も実施しており、その形態を（2）「特殊寄付」と位置づける。以下、何の寄付行為についてそれぞれの形態より見ていくこととする。

(1) 「一般的寄付」

考察対象時期の『福田会月報』を見ていくと、何による寄付は 19 件確認されており、金銭、食品、玩具、雑誌、抽選券が寄せられている。年次別件数でみると、1902（明治 35）年が 4 件、1903（明治 36）年が 7 件、1904（明治 37）・1905（明治 38）年が各 3 件、1906（明治 39）・1909（明治 42）年が各 1 件となっている。明治から大正期にかけて、ほぼ毎月寄付していた支援者も存在していたことからすると、決して多い寄付件数とはいえない。

(2) 「特殊寄付」

何は 1908（明治 41）年 10 月に福田会へ 3,500 円の寄付（新築移転費 3,000 円、整理費 500 円）を提案している。この提案は「深ク同会ノ前途ニ就キ慮ル所」（「年譜藁」）があるためになすものであり、「本会中ニ伝道部増殖部ノ設置及其他整理ノ事項」を「実行ノ上」で受領して欲しいとするものであった（「寄附行為ニ係ル条件ノ理由説明書」）。つまりは「条件付き」での寄付であった。

何が掲げた条件は、伝道部の新設により福田会設立時に培った仏教理念に立ち返ること、福田会が計画していた施設移転費用を集めるために増殖部を新設し、仏教の教えに基づいて費用を「勸化」することであった。

何が寄付条件を提示した背景には、当時の福田会を覆っていた「排仏ノ氣象」という世俗化の雰囲気や理事・監事の職務怠慢といった組織内の弛緩への憂慮が存在していた。何は福田会の運営に深く携わっていたため、上述のような福田会の実情を知り得る立場にあった。また、施設移転計画に一定の費用が必要なことも把握していたものと思われる。その実情を逆手にとり行われたのが、何による条件付き寄付であった。

何の提案後、福田会は 1909（明治 42）年 2 月に伝道部を新設している。増殖部については『福田会月報』内に設置を意識した文章はあるが、設置された形跡は確認できない。何の寄付は 1911（明治 44）年に提案通りの金額で受領されている。

5. 考察

何の寄付行為は一般的な形態だけではなく、「条件付き」という特殊な形態でも実施されていた。その特殊な形態は仏教理念が薄れつつあった福田会の運営状況への憂慮を改善すべく、新築費用の寄付を条件に院内改良を求めたものであり、福田会の実情を逆手にとり行われた戦略的な寄付行為であったといえよう。何が企図した伝道部などのその後については今後の課題となるが、寄付の結果、福田会の新築移転は実現し、まさに「恩人」たる役割を十二分に果たしたと評価できる。

〔付記〕本報告は、科学研究費助成事業・基盤研究（C）（課題 「明治・大正期における福田会育児院の財政に占める寄付の全容と寄付文化に関する研究」）（課題番号 23K01824）、の助成を受けた研究の成果の一部である。